

大学等名：立正大学

テーマ：テーマⅠ（アクティブ・ラーニング）

取組概要

講義科目においてタブレットや予習用動画を活用した双方向授業を展開し、学生の学修意欲と理解を向上させる。フィールドワーク実習科目では、ワークショップなどの手法を用いて地域連携を視野に入れた授業を実施する。またバーチャル教材とリアル教材を併用して知的好奇心を喚起し、より高度な教育・研究を目指す。

取組の背景

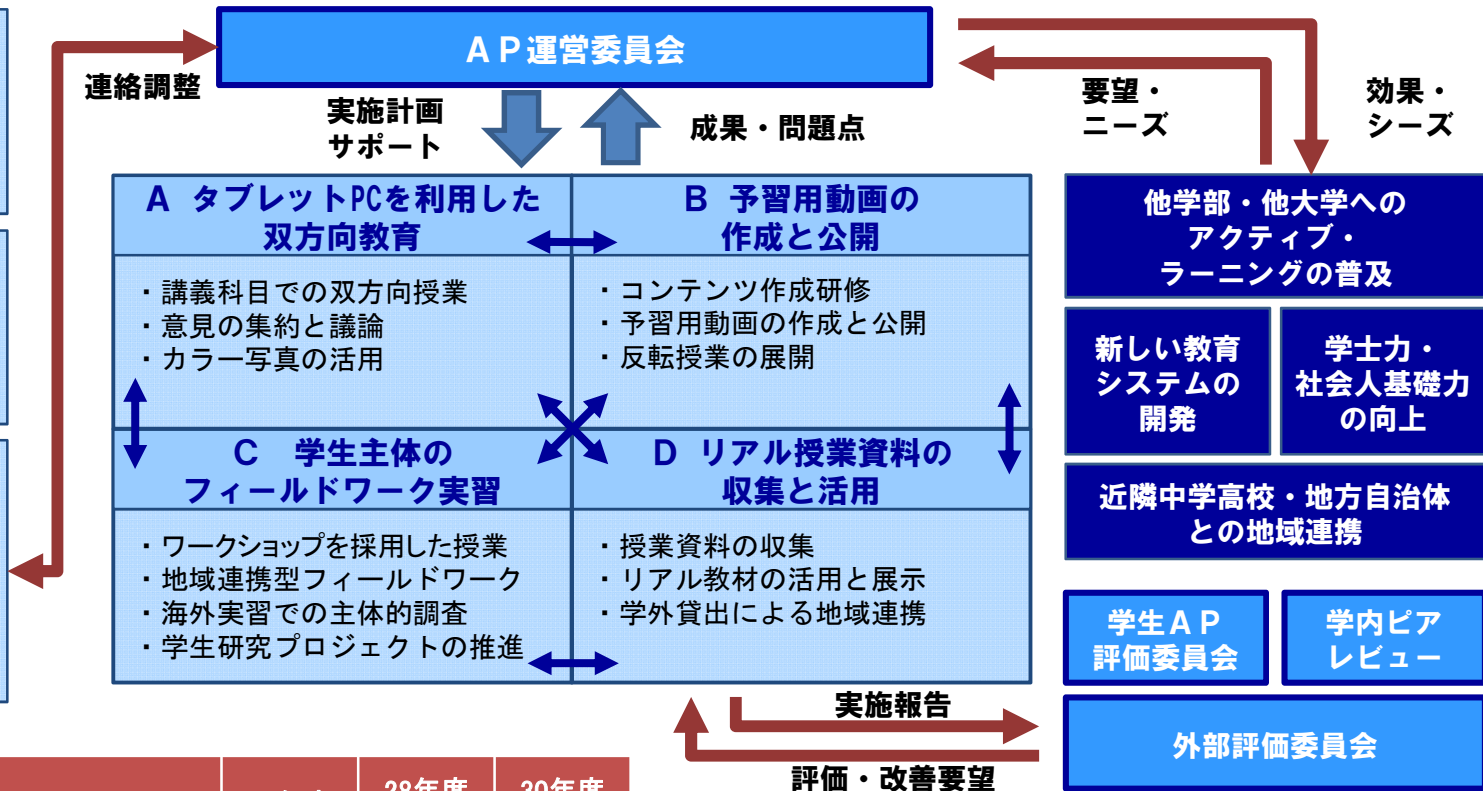
- ・大学生の基礎学力低
- ・コミュニケーション力欠如
- ・講義科目での受動的姿勢
- ・フィールドワークの見直し

目標

- ・学生の主体性向上
- ・基礎学力の定着
- ・教育の効率化
- ・教員指導能力の向上

実施体制

- ・地球環境科学部で実施
- ・情報メディアセンター
- ・FD委員会・教務委員会
- ・博物館・研究支援課など
- ・全学的支援体制の整備



	26年度	28年度 (目標値)	30年度 (目標値)
アクティブ・ラーニングを実施する講義科目の割合	8%	16%	34%
アクティブ・ラーニングに取り組む教員の割合	17%	39%	61%
反転授業用予習用動画の累計本数	6本	54本	82本

- 教育方法の共有を進め、大学全体でカリキュラムの見直しを加速させる。
- ラーニングコモンズなどを整備し、あらゆる場面で考える力・行動する力を磨く空間を創出する。